

石川県立大聖寺実業高等学校 機械システム科

学校基本情報（令和7年5月1日現在）

設置学科	機械システム科・情報ビジネス科	在籍生徒数（全校生徒数）	147人（239人）
住所	〒922-8525 石川県加賀市熊坂町77番地		
電話	TEL 0761（72）0715		
○特色ある教科や授業			
石川県内で唯一の工業科と商業科を有する専門高校の特徴を生かし、3年生では、機械システム科の生徒が商業の専門科目を、情報ビジネス科の生徒が工業の専門科目を学ぶことができます。			
○学校行事			
・海岸清掃ボランティア（春に加賀市内の海岸の清掃ボランティアをおこないます。） ・課題研究発表会（本校で探究活動の学習成果について展示と発表をします。） ・「生徒と保護者で学ぶ地元企業」（キャリア教育の一環として、地元企業から生徒、保護者、教員に対して事業内容、求める人材像などについて説明をしていただきます。）			
○部活動			
野球、バレーボール（男女）、陸上競技（男女）、弓道（男女）、バドミントン（男女）、バスケットボール（男女）、ソフトテニス（男女）、卓球（男女）、柔道（男女）、吹奏楽、美術・写真、商業（プログラミング・ワープロ・電卓）、茶道・華道、メカトロの部活動があります。特に学科の特徴を活かしたメカトロ部はアメリカ航空宇宙局NASAの研究員の指導を受けて、AIロボットカーの製作に取り組んでいます。			
○進路状況			
機械システム科の就職者の割合は約7～8割です。その中の約8割の生徒が南加賀地区の企業に就職します。進学者のほとんどが推薦制度を利用して4年生大学や短期大学に進学します。国立大学の工学部への進学実績もあります。			

3 つ の 方 針

○このような生徒を求めています（生徒募集方針）
<ul style="list-style-type: none"> ・モノづくりやプログラミングが好きな生徒。 ・チャレンジ精神を持ち、個性を伸ばしたい生徒。 ・ふるさとを愛する心を持った生徒。 ・産業人としての基本的な生活習慣（時間を守る、挨拶など）を身につけたい生徒。
○このような学びを行います（教育課程編成・実施方針）
<ul style="list-style-type: none"> ・産業人としての基礎的・基本的な知識と技術の定着に向け、学びの基礎となる科目を1年次に重点的に設定します。 ・工業科と商業科の両科を有する学校の特色を活かし、産業人として各科で育成を目指す資質・能力と関連する他科の専門教科・科目をそれぞれ設定します。 ・共通教科の選択科目は、各科での学びと関連性の高い科目、進路実現に対応できる科目を設定します。 ・時代とともに変化するモノづくりへの新たな選択肢や機会を増やすため、AIやIoT等を取り扱う科目を設定します。
○卒業までにこのような生徒を育てます（生徒育成方針）
<ul style="list-style-type: none"> ・産業人としての基礎的・基本的な知識と技術を身につけるとともに、1人1人の専門性を高めます。 ・自ら課題を発見し、合理的・創造的に解決する力を伸ばします。 ・社会人・組織人としてコミュニケーションを図りながら、地域社会に主体的・協働的に参画する態度を育成します。 ・生産性を向上するため、物事を多様な観点から考察する力を育成します。

石川県立大聖寺実業高等学校 情報ビジネス科

学校基本情報（令和7年5月1日現在）

設置学科	機械システム科・情報ビジネス科	在籍生徒数（全校生徒数）	92人（239人）
住所	〒922-8525 石川県加賀市熊坂町ヲ77番地		
電話	TEL 0761（72）0715		
○特色ある教科や授業			
石川県内で唯一の工業科と商業科を有する専門高校の特徴を生かし、3年生では、機械システム科の生徒が商業の専門科目を、情報ビジネス科の生徒が工業の専門科目を学ぶことができます。			
○学校行事			
・海岸清掃ボランティア（春に加賀市内の海岸の清掃ボランティアをおこないます。） ・実高展（毎年11月に加賀市内の商業施設で本校の学習成果について展示と発表をします。） ・「生徒と保護者で学ぶ地元企業」（キャリア教育の一環として、地元企業から生徒、保護者、教員に対して事業内容、求める人材像などについて説明をしていただきます。）			
○部活動			
野球、バレーボール（男女）、陸上競技（男女）、弓道（男女）、バドミントン（男女）、バスケットボール（男女）、ソフトテニス（男女）、卓球（男女）、柔道（男女）、吹奏楽、美術・写真、商業（プログラミング・ワープロ・電卓）、茶道・華道、メカトロの部活動があります。特に学科の特徴を活かした商業部は商業の各分野についての専門性を高めていきます。各種競技会において全国大会出場の実績があります。			
○進路状況			
情報ビジネス科の就職者の割合は約7割です。その中の約8割の生徒が南加賀地区の企業に就職します。進学者のほとんどが推薦制度を利用して進学します。ビジネス系の上級学校の他にも保育、看護関係へ進学する生徒もいます。金沢大学や富山大学などの国立大学への進学実績もあります。			

3 つ の 方 針

○このような生徒を求めています（生徒募集方針）
<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとを愛する心を持った生徒。 ・「向上心」や「前向きさ」があり、起業家精神を学ぶ意欲のある生徒。 ・産業人としての基本的な生活習慣（時間を守る、挨拶など）を身につけたい生徒。 ・プログラミングやアプリケーション作品に興味のある生徒。
○このような学びを行います（教育課程編成・実施方針）
<ul style="list-style-type: none"> ・産業人としての基礎的・基本的な知識と技術の定着に向け、学びの基礎となる科目を1年次に重点的に設定します。 ・共通教科の選択科目は、各科での学びと関連性の高い科目、進路実現に対応できる科目を設定します。 ・専門教科の科目は、急速に発展している情報技術に対応できる情報活用能力の育成を図り、情報分野の科目を重点的に設定します。 ・観光に関する科目を新設し、地元産業と連携した教育を実践します。
○卒業までにこのような生徒を育てます（生徒育成方針）
<ul style="list-style-type: none"> ・産業人としての基礎的・基本的な知識と技術を身につけます。 ・自ら課題を発見し、合理的・創造的に解決する力を伸ばします。 ・社会人・組織人としてコミュニケーションを図りながら、地域社会に主体的・協働的に参画する人材を育成します。 ・情報技術などの最新テクノロジーを活用し、地域産業活性化のために新しい価値を創造する力を育成します。